

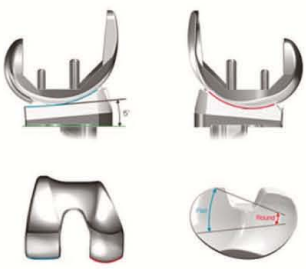
人工膝関節置換術に使う器械の特徴 どんな器械を使うの？

葛城病院 院長 中島 幹雄
人工関節センター長

膝関節の変形が酷くなる人工膝関節置換術(TKA)が行われますが、現在数百種類の器械があると言われると思います。どの器械を使うかは手術器械の信頼性、術者の経験数や器械の設計理念等を総合し最終的に整形外科医の判断で決定します。今回はTKAの器械の特徴とどんな場合にどの器械を使うかという選択基準をお話します。ほとんどの手術は変形がわずかで靭帯がしっかりとっている膝に行われます。この場合には大腿骨と脛骨の表面を削って設置する表面置換型(図1-a)とこの器械が使われます。後十字靭帯を残すタイプと残さないタイプが、後十字靭帯を残すタイプの2種類があります。

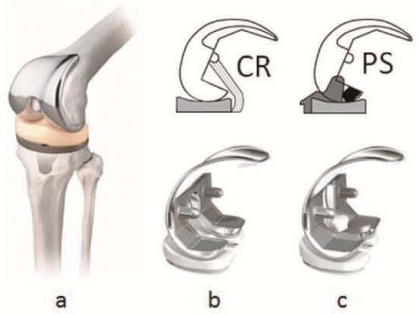
膝の骨欠損が大きくなったたり膝の靭帯の緩みが酷くなったような膝では、骨の欠損部分を埋めたり靭帯機能の代わりをする複雑な機構を備えた器械が適応となり、術者にも熟練の技術が要求されます。術後の膝機能を確実に良くするには膝の状態に応じた適切な器械の選択が重要で、それには術前の画像診断と

【図2】正常膝と同じような動きを誘導する人工膝関節



内側と外側が非対称になっている

【図1】表面置換型の人工膝関節



a:一般的な人工膝関節 b:後十字靭帯を残すタイプ c:残さないタイプ



院長
人工関節センター長
中島 幹雄
<資格>
●日本整形外科学会代議員・専門医、
同学会認定リウマチ医、同学会認定
運動器リハビリテーション医
●日本リウマチ学会専門医・指導医

市民健康講座 入場無料

「整形外科・リハビリシリーズ」を開講します
第20回「膝関節の病気と治療の話」～どんな手術をするの?～
6月11日(土) 14:30～16:00
院長 中島幹雄、リハビリテーション部 理学療法士 藤井隆文
第21回「股関節の痛みの話」～どんな病気があるの?～
7月16日(土) 14:30～16:00
院長 中島幹雄、リハビリテーション部 理学療法士 村田華麻里
第22回「交通事故や脳卒中でもし脳が傷ついたら…」
～知っておきたい高次脳機能障害～
8月19日(金) 14:30～16:00
副院長・リハビリテーション科 橋本 務
☆介護相談コーナー☆
各回終了後にケアマネジャーが無料で相談をお受けします。
ご自身の身の回りや、ご家族の介護などで心配事はありませんか?
場所: 葛城病院 2階研修室
お申込み・お問合せは、地域医療連携室まで

膝の骨欠損が大きくなったたり膝の靭帯の緩みが酷くなったような膝では、骨の欠損部分を埋めたり靭帯機能の代わりをする複雑な機構を備えた器械が適応となり、術者にも熟練の技術が要求されます。術後の膝機能を確実に良くするには膝の状態に応じた適切な器械の選択が重要で、それには術前の画像診断と

人工関節センターのご案内
◎中島幹雄医師
※診療予約もしくは紹介状をお持ちの方は当日受け付けます
▷火曜(朝診)、金曜(朝・夜診)
◎常德剛医師▷水曜(朝診)
●朝診… 9:00～11:30(受付 8:00～)
●夜診… 17:00～19:30(受付16:00～)



医療法人大植会 葛城病院

TEL.072-422-9909(代) 岸和田市土生町2-33-1

【外来診療時間】 9:00～11:30/13:00～16:00/17:00～19:30 ※科目により時間が異なります

- 【診療科目】 ●内科 ●循環器内科 ●消化器内科 ●血液内科 ●糖尿病内科 ●外科 ●心臓血管外科 ●消化器外科 ●肛門外科 ●整形外科 ●脳神経外科 ●形成外科 ●リウマチ科 ●皮膚科 ●泌尿器科 ●眼科 ●リハビリテーション科 ●放射線科
【センター】 ●下肢静脈瘤治療センター ●健診センター ●人工関節センター ●脊椎外科センター

プランニングも欠かせません。当院の人工関節センターが皆様のお役に立てれば幸いです。